

令和7年度 難病フォーラム

神経難病患者等の災害時の備えについて

鳥取市健康こども部鳥取市保健所 保健医療課

日常の生活状況 と 災害時の備え をお尋ねしました

【調査の概要】

対 象 者：鳥取県東部圏域にお住まいの神経難病患者
及び 24時間人工呼吸器使用患者 641名(令和5年度時点)

実施期間：令和5年度、令和6年度

調査内容：療養状況
生活状況、身体状況
使用している医療機器
災害時の備え など



災害時の備えは...?

日常生活状況と災害時の備えをお尋ねしました（2）

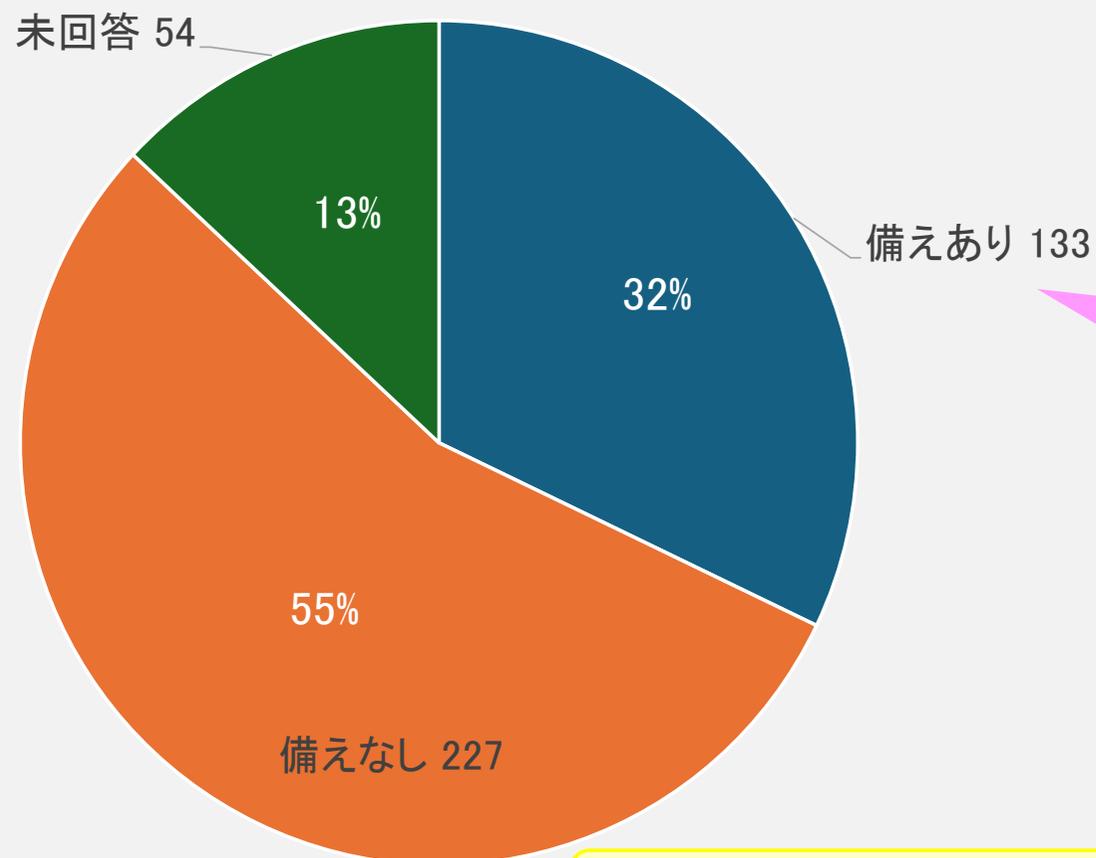
【回答者の属性・結果】

| 区分 | 結果 |
|------------|---|
| 疾患 | パーキンソン病：55% 重症筋無力症：8%、脊髄小脳変性症：8%、その他 |
| 年齢層 | 「70～79歳」の年齢層が最も多い：33% 「80～89歳」の年齢層：28% 「60～69歳」の年齢層：18% |
| 療養場所 | 「在宅療養」が最も多い：67% 「施設入所」：16%、「長期入院」：10% |
| 受療状況（※） | 定期通院：84% うち「介助が必要」：51% |
| 医療機器の使用（※） | 使用していない：58.5% 日頃使用している：26.3%（電動ベッド＞吸引器＞人工呼吸器 など） |

全体の約77%
が65歳以上

（※長期入院、施設入所の方を除く）

災害時の備えについて（抜粋）



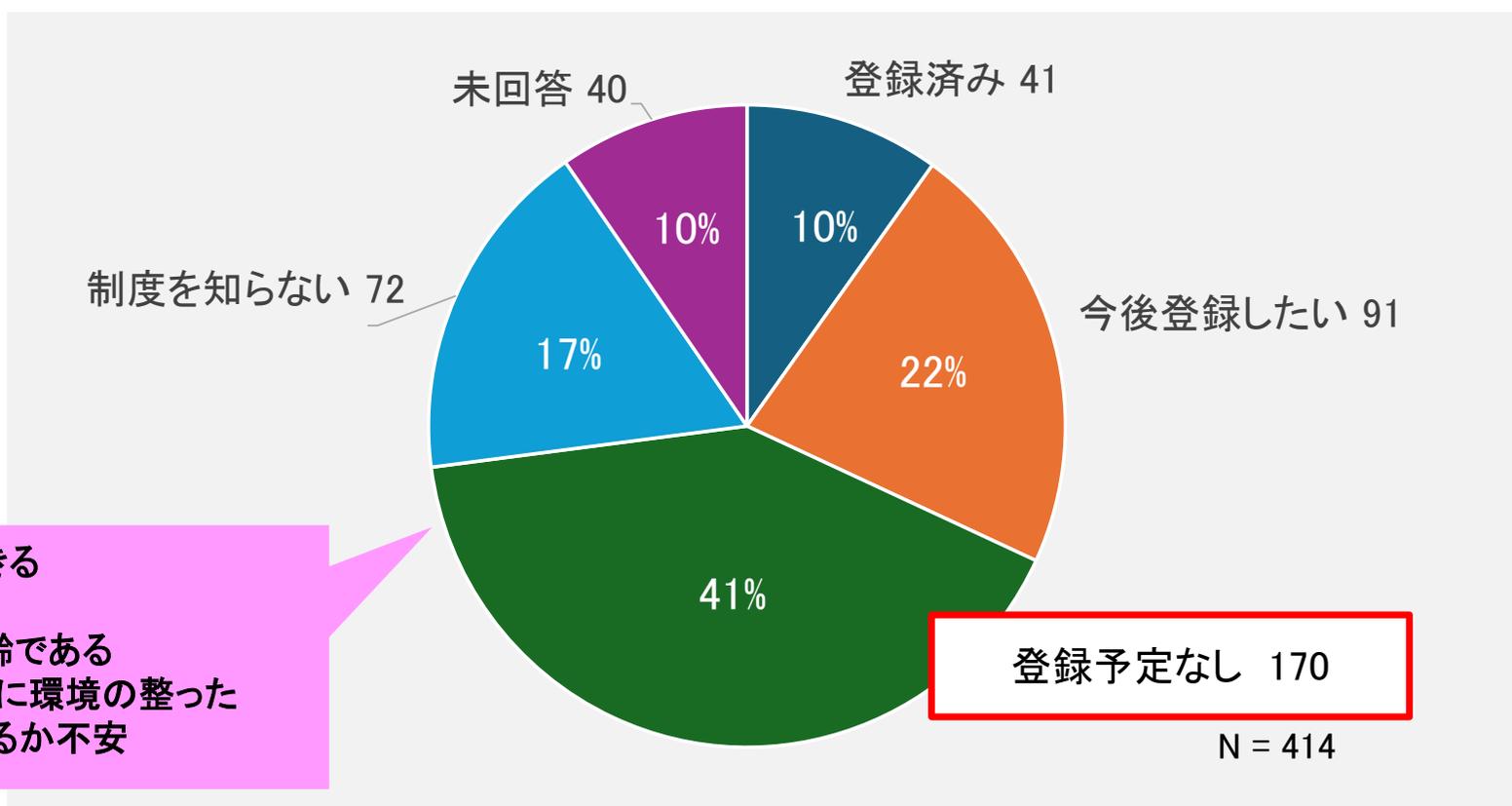
- ・水・食料の備蓄 12%/全体
- ・非常用電源の確保 3%/全体

半数以上の方が「災害時の備えなし」を選択

N=414

避難行動要支援者支援制度について（抜粋）

この制度は、災害が発生した初期に近所で助け合うことを目標としたものです。
自らは自らが助ける「自助」が基本となりますが、隣近所が互いに助け合う「共助」の精神で対応することも大変重要なことです。
自治会・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会などの地域の皆様には、このような趣旨をご理解いただき、お住まいの地域で、支援（互助・共助）していくことで、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりをめざしています。



災害時の被害を軽減するためには・・・（防災対策の基本）

自分自身は自分で守る
一人ひとりが自ら取り組むこと

自助

まずは
あなたが無事であることが
大切です！

日頃からの備えが重要

共助

地域や身近にいる人
同士がお互いに助け合う
(地域や身近にいる人
同士と一緒に取り組む)

(互助)

公助

行政が対応する
国や地方公共団体など
が取り組むこと